

インフルエンザの流行期になります

11月になり、寒くなってきました。空気も乾燥してきましたね。冬の感染症の流行期になります。全国的にもインフルエンザが増えているようです。今回はインフルエンザについて取り上げます。

2023年は久方ぶりにインフルエンザが流行しました。これは、2020年～2022年まで、コロナの感染対策によりインフルエンザが流行しなかったため集団免疫がつかなかったことが要因ともいわれています。2023年の釧路管内のインフルエンザ発生数は7018人。2024年は1月以降、約2680人程度です。また、昨年と同じ時期では釧路管内では100人以上の陽性者が出ていましたが、今年は10人程度の発表となっています。最新の北海道の発生状況を以下にお示します。

11/4～10の
インフルエンザ発生数

全国：5252人
北海道：150人

先週まではあまり増加していないが
釧路は増加中！要注意

札幌32人

帯広0人

釧路50人

インフルエンザの症状

発熱・悪寒・頭痛・関節痛など

上記のような症状があり、当院に受診を希望される場合は、来院前に外来に問い合わせをして下さい。診療科での診察ではなく、発熱外来での対応となります。



インフルエンザの検査と治療

インフルエンザの検査は簡易キットによる検査です。検査は発熱後12時間以上経過しないと陽性にならないことがあります。治療は内服薬または吸入薬があります。ただし、発熱後48時間以内に治療を開始しないと薬剤使用の適応ではないとされています。



感染予防対策

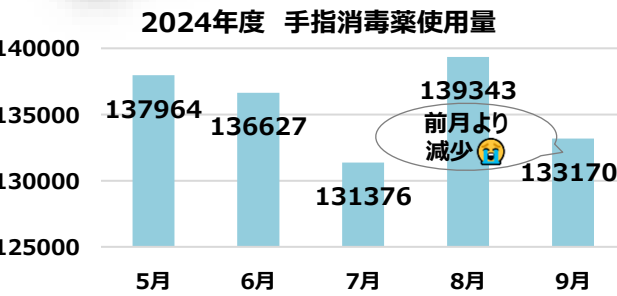
インフルエンザは飛沫感染によってうつります。



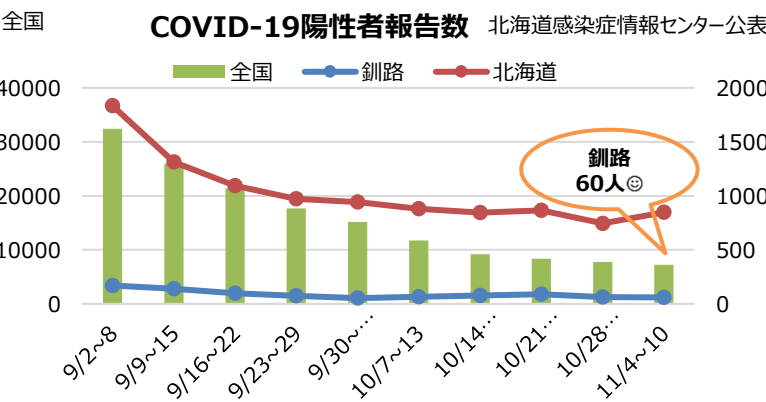
予防策はマスク着用、手洗いや手指消毒をする等、COVID-19の対策と同様です。また、ご飯を食べしっかり睡眠をとって、体調管理を心がけましょう。



ワクチン接種はインフルエンザに罹患しないということではありません。重症化を少しでも緩和するというのが大きな目的です。罹患しないための予防も大切です。ワクチン接種を検討している方はかかりつけ医にご相談してみてもはいかがでしょうか？



手指消毒の使用量が前月より減少傾向です。しっかり手指消毒しましょう！



院長先生からのメッセージ



5類移行後新型コロナウイルス感染症も単なるウイルス感染と捉える風潮がありました。しかし、現実をみるとそんなに甘いものではない…特に病院ではまだまだ難敵です。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症とも対策は一緒、うがい、手洗い、マスクの着用。これからますます厳しい冬を迎えます。みなさん、予防をお願いしますね。

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会も引き続き原則禁止とさせていただきます。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。